

知的資産経営報告書

We Support Ecology



橋永金属株式会社

# 目次



1.	社長より皆様へ	3
2.	経営理念	4
3.	社是	4
4.	社長方針	5
5.	環境方針・品質方針	5
6.	取扱い商品	6
7.	サービス	7
8.	事業概要	8
9.	橋永金属の機能	9-10
10.	これまでの歩み	11-12
11.	我々の知的資産	13
	困りごとを解決する提案力	14-16
	ものづくりをカタチにする創造力	17-18
	安心・信頼・満足の品質力	19-20
	いつでも Face to Faceで親切対応	21-22
12.	事業環境	23
13.	将来に向けて	24
14.	会社概要	25
15.	支援者からのコメント	26
16.	知的資産経営報告書とは	27
17.	本書ご利用上のご注意	27
18.	お問い合わせ先	27



橋永金属は非鉄金属材料及び加工部品の特性を活かした製品を通じて主要得意先である自動車部品、電子通信部品メーカー様の環境性能向上に貢献してまいりました。

今後もお客様の開発、製造、品質、購買の各現場の皆様の声（ニーズ）に耳を傾け、競争力ある素材メーカーとオンリーワン技術を持つ加工メーカーの技術力を融合させたオンリーユアの商品、サービス（シーズ）を提案してまいります。

この非鉄金属素材業界で70年余りの歴史を積み重ねてくることができましたのは、ひとえにお得意先企業様、仕入先企業様、協力先企業様、従業員の皆さんとの信頼関係があつてこそと考えております。

今後もステークホルダーの皆様と共創・共栄の精神で信頼・安心・期待に応えてまいります。



橋永金属株式会社

代表取締役

橋 永 勝 弘

## 2. 経営理念



### 人と環境を大切に材料の技術と品質で社会に貢献する

「人と環境を大切に」

橋永金属は事業活動に携わるステークホルダー（得意先、仕入先、加工先、物流委託先、従業員）の皆様一人ひとりを大切に環境に配慮した企業活動を心掛けてまいります。そのためには従業員一人ひとりが高い環境認識を持ち積極的な行動を取れる人財でなければなりません。

プラスの環境影響を与える、人、風土、企業であり続けたいと考えております。

「材料の技術と品質で社会に貢献する」

お客様の次世代商品の開発活動に関わり、環境にやさしい材料、加工部材、サービスの提案を通じて社会に貢献すること。

（例えば、低燃費、軽量化につながる商品開発、環境負荷物質の低減に貢献するなど）

お取引先様とのモノづくりを通じて、地球環境の保全に貢献してまいります。

## 3. 社是



### 誠実 勇気 実行

仕事を遂行するにあたり常に誠実であること。誠実は信頼の源です。全てのステークホルダーの皆さんに対して、いかなる局面においても誠実に対応しよう。

日々さまざまな問題に直面し、悩み、必ずしもいい結果につながるとは限りません。時にはお客様に、仲間に、迷惑をおかけすることがあるかもしれません。

そんな時にこそ、勇気をもって物事に対処していこう。

仕事においても、人生においても、誠実な心で物事を正面から受け止め勇気を持って実行していこう。志を持ち、目標に向かってひとつひとつ実行していこう。

## 4. 社長方針



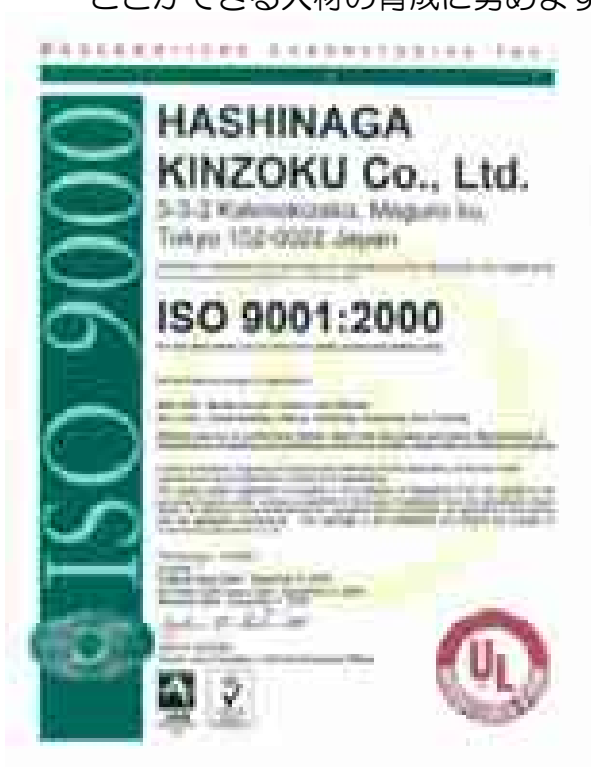
「人と環境を大切に材料の技術と品質で社会に貢献する」の経営理念のもと、

- 1) お取引先様の要求事項を満たした商品・サービスを提供し、品質第一をもって客先信頼の高い販売会社を目指す。
- 2) 人と環境に配慮した意識と行動を実践し、恵まれた地球環境の保全と職務の安全に努める。

## 5. 品質・環境方針



- 1) 商品・提案・情報・サービスの質を高め顧客満足度の向上に努めます。
- 2) 環境・品質マネジメントシステムを運用し、継続的な改善に取り組みます。
- 3) 環境保全・品質に関わる法規制及びその他要求事項を遵守します。
- 4) 環境、安全に配慮した意識と行動、品質・サービスの向上に積極的に取り組むことができる人材の育成に努めます。

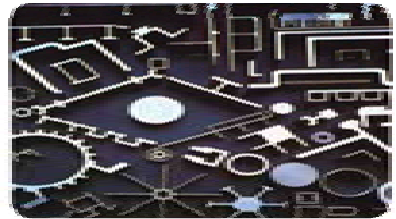
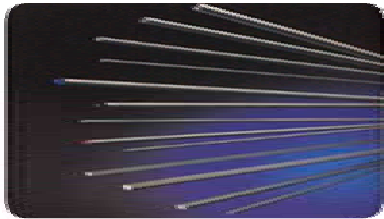


## 6. 取扱い商品



### 材料

強度・伸び・ハネ性 ・電気伝導性・熱伝導性・耐熱性 ・加工性・軽量化等、  
さまざまな開発ニーズにあわせて最適な材料をご提案します。

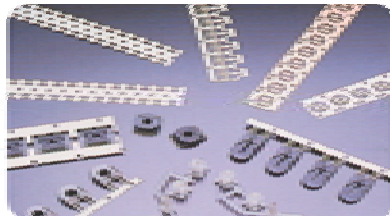


取扱材料：アルミ合金・銅・銅合金・リン青銅・ベリ銅・開発合金・洋白・  
ステンレス・42アロイ・Ni合金 ・特殊鋼・マグネシウム・磁性材

形状：板 条 棒 パイプ 型 線 箔

### 塑性加工品

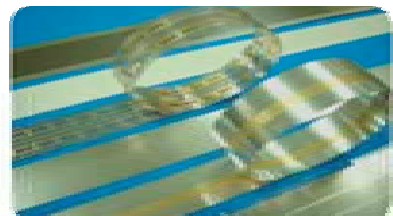
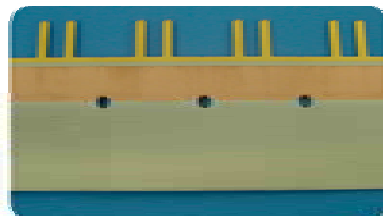
素材+塑性加工+ $\alpha$  ワンストップでの加工対応をご提案します。



冷間鍛造 熱間鍛造 鋳造 ダイカスト 精密プレス ロストワックス MIM 他

### 表面処理

素材+表面処理 + $\alpha$  ワンストップでの加工対応をご提案します。



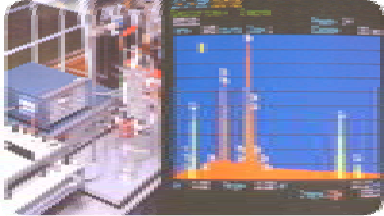
Auめっき Agめっき Snめっき Sn-Cuめっき Pbフリーめっき  
Niめっき (形状：部分・片面・複合・ストライプ) アルマイト 他

## 7. サービス



### 調査

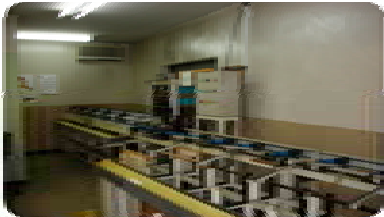
調査解析機関と連携しお客様の求められる調査事項に的確にお応えいたします。



事例 : 材質確認 機械的性質 表面状況観察 腐食調査 不具合の解析等

### 検査体制

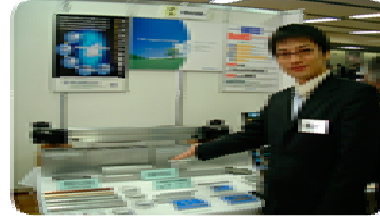
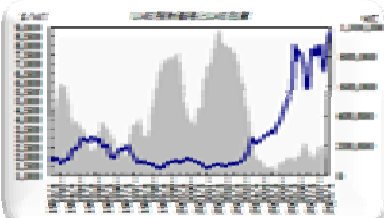
モノづくりを行う上で品質問題は避けて通れません。品質管理室を設け、不具合の未然防止を目的とした工程能力管理や問題発生時の素早い対応のための検査体制を有しています。



保有検査器具 : 硬度計 探傷機 投影機 ノギス マイクロメーター 曲り測定機

### 情報発信

地金情報、材料情報、技術情報等を定期的に発信。HPでの情報のご提供や展示会への出展を通じて、より多くの開発・購買の皆様にお役に立つ情報発信に努めています。



## 8. 事業内容

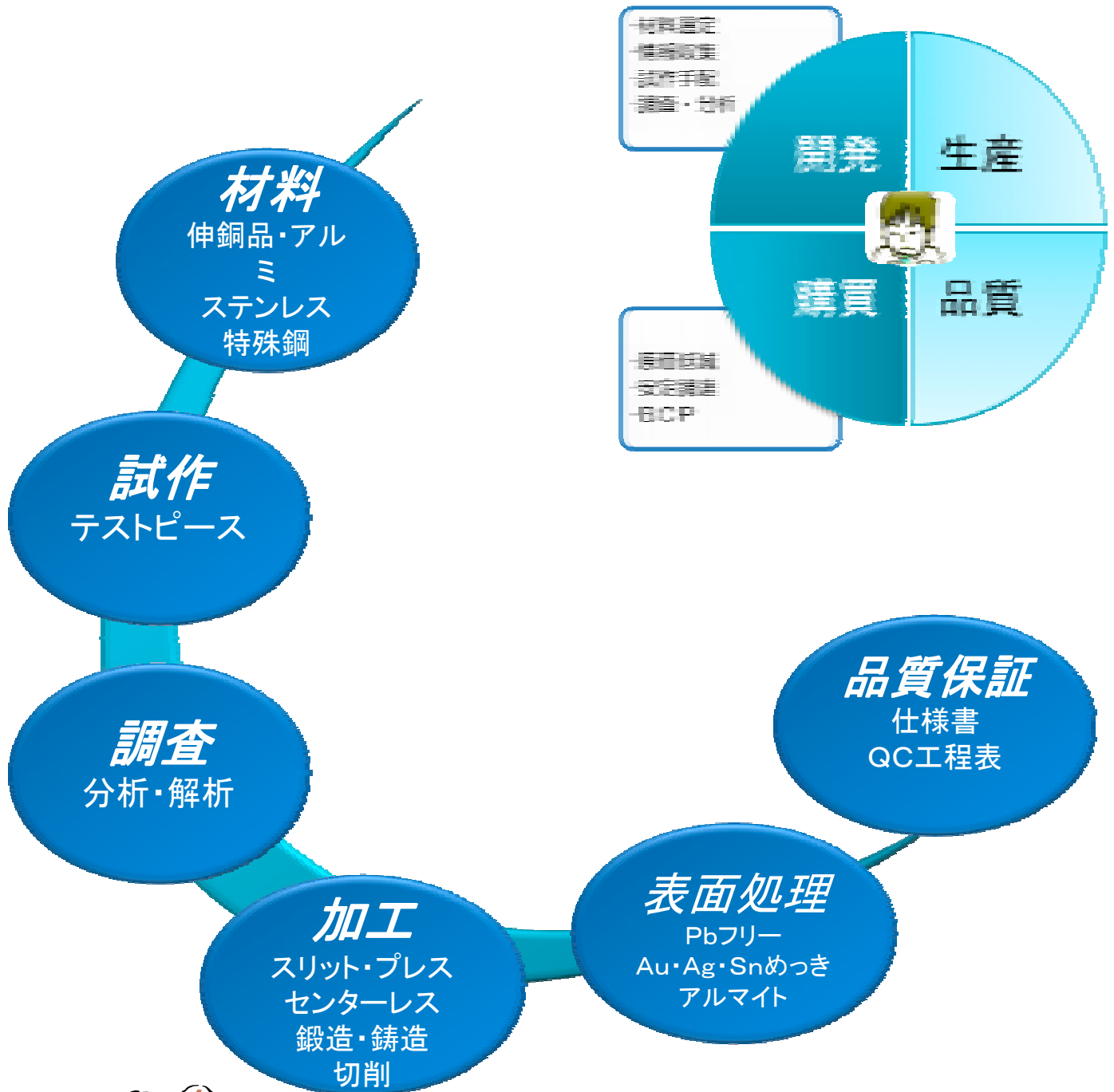


我々のお取引先様は日本の競争力の源泉であるものづくり企業の皆様方です。ものづくり現場の最前戦の方々と接し、皆様が抱える問題解決に的確にお応えしていくことが我々の使命です。日本の素材産業の持つ高品質な材料とオンリーワンの技術を持つ加工メーカーの特長を融合しご提案するコーディネート力が我々の強みでもあります。この機能を果たしていくためには取引先企業の皆様方との強い信頼関係・パートナーシップは欠かせません。

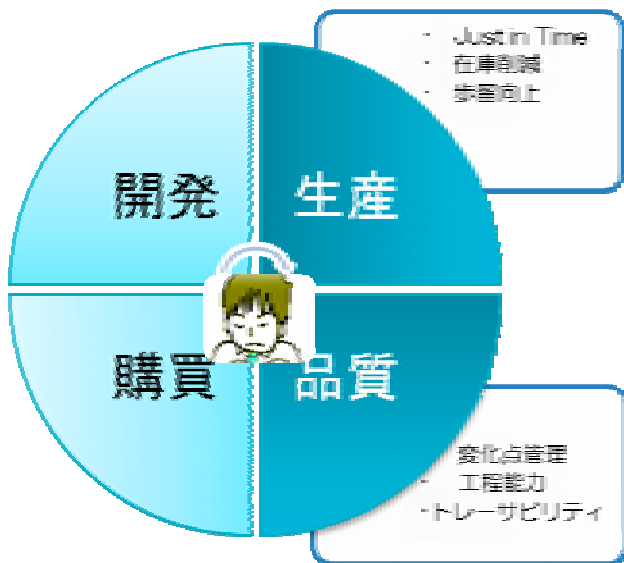
この信頼関係を継続発展させるために最も重要なものは、その仕事に携わる人です。中長期的な視点でお取引先様との信頼を構築していくためには常に誠実な対応が実践できる人財の育成が重要施策のひとつです。

社内外の研修会への参加やOJT教育、先輩社員がコーディネーターとして、はたすべき使命や行動・商品知識などを伝えていくプロセスのなかで、我々の知的資産の根拠が脈々と伝わっていくのです。





素材選定から二次加工部品まで。  
開発・購買活動で抱える問題に  
的確にお応えいたします。



お客様のモノづくり環境を柔軟にサポート。  
安定した品質・調達・物流をご提供いたします。



## 10. これまでの歩み



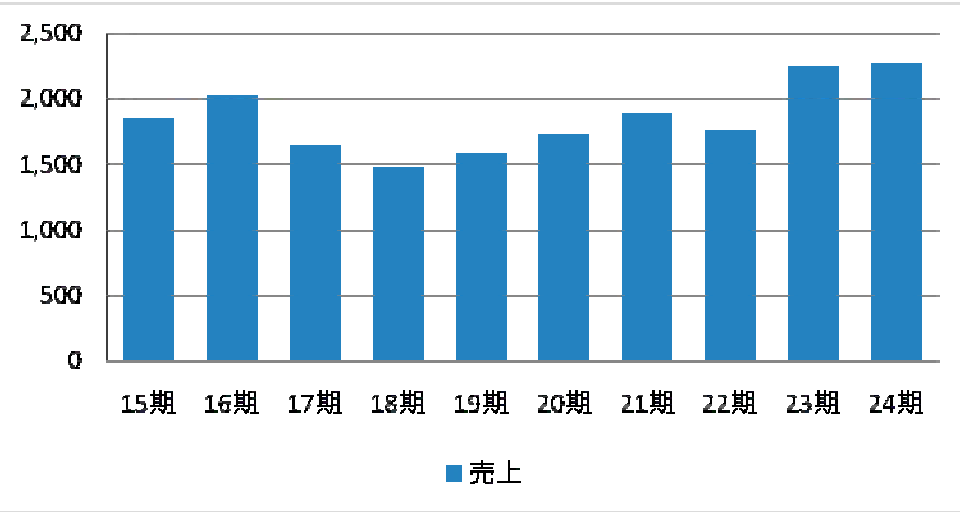
	トピックス	主要取扱商品	コメント
創業期	昭和10年	創業	
	昭和21年	橋永金属合資会社 設立	まさに創世期 リヤカー、オート三輪で材料を 運ぶ時代だった
	昭和30年	橋永孝雄 社長就任	一般材等の在庫販売 同業他社との差別化をはかるこ とが難しかった
	昭和42年	二ーズ開拓型営業へ転換	オンリーユ商品開発 与信管理の徹底
	昭和50年	優良申告法人表彰を頂く (以後現在まで継続中)	リン青銅
	昭和60年	創立50周年 橋永金属株式会社へ商号変更	アルミ鍛造品 加工品比率上昇
	平成4年	現社屋増改築 (事務所の近代化・倉庫拡充)	アルミ型材 軽量化二ーズ高まる
	平成7年	品質検査室設置 (QC管理強化)	
継承期	平成9年	社内LAN、販売管理システム導入 世代交代を見据え人財採用を開始	
	平成15年	ISO14001認証取得	環境規制強化の流れ
	平成16年	橋永孝雄 会長就任 橋永勝弘 社長就任	鉛フリーメッキ材
	平成18年	ISO9001認証取得	
成長期	平成20年	知的資産経営報告書 作成 第9次中期経営計画スタート	加工品比率60%

# 10. これまでの歩み

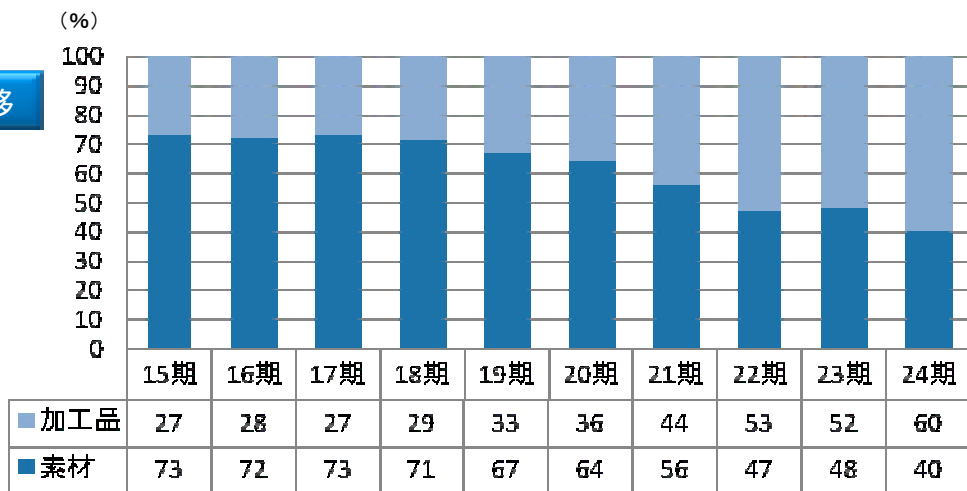


(百万円) (15期 1998.6 ~ 24期 2008.5)

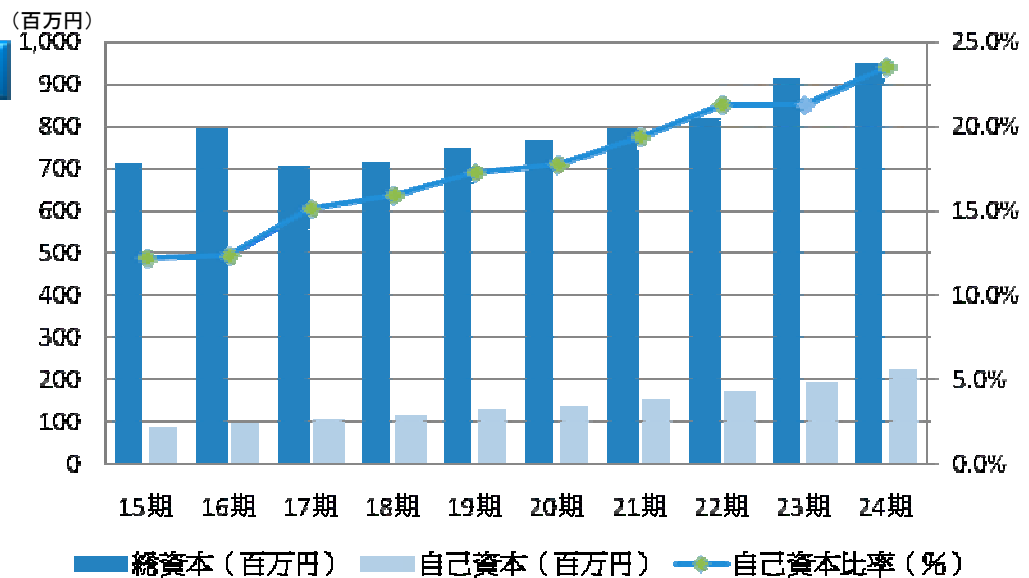
## 売上推移



## 商品構成推移



## 資本推移



## 11. 我々の知的資産

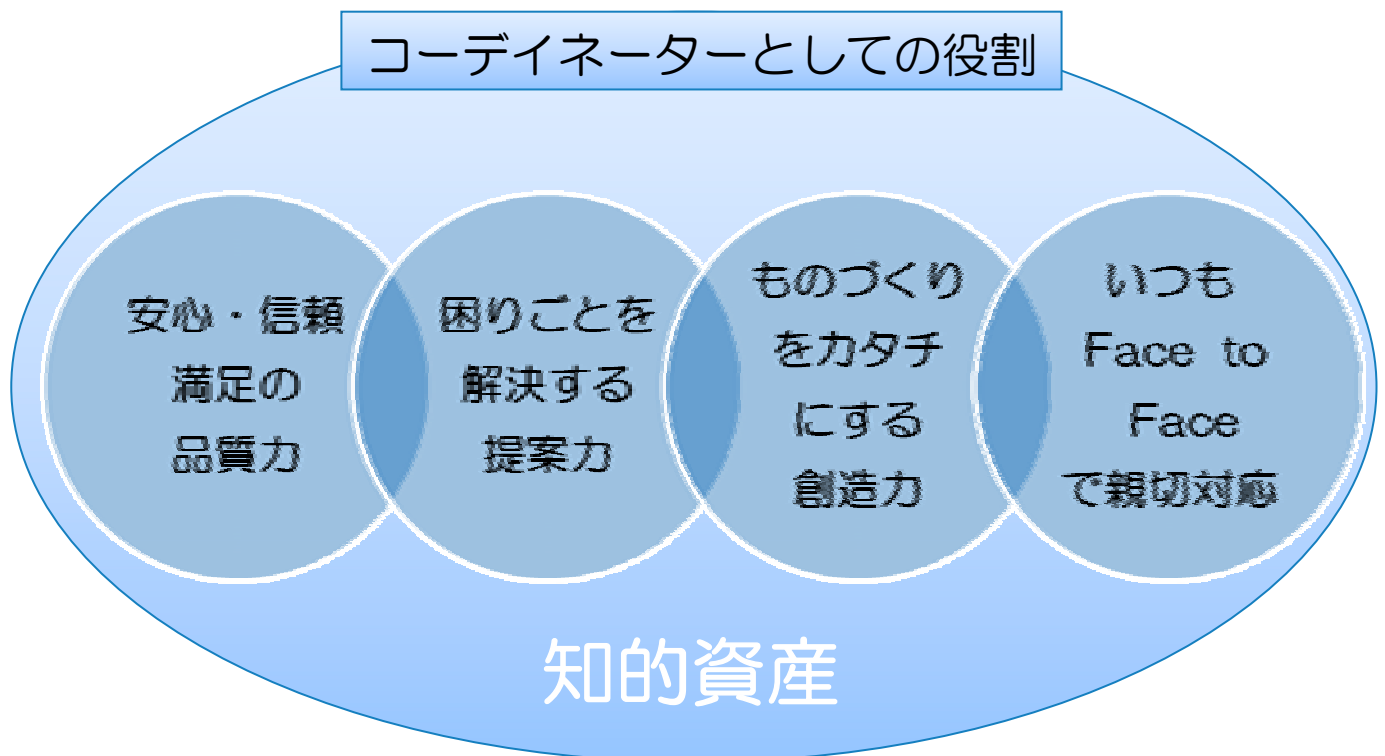


橋永金属は、お客様の声（ニーズ＝開発・設計、製造、品質管理、購買）に耳を傾け競争力ある素材メーカーとオンリーワンの技術を持つ加工メーカーの技術力を融合しオンリーユーの商品とサービス（シーズ）を提案してまいります。

私たちはニーズとシーズのコーディネーターとしての役割を、  
【柔軟性とこだわりをモットーに提案力・創造力・品質力・対応力を最大限に活かし安定したものづくり環境を提供する事】と考えます。

困難なご要望に対し、誠実・勇気・実行の社是のもと最善の方法を見つけ出しQCDDに貢献致します。

### コーディネーターとしての役割





## 背景

電子部品の小型化により、ユーザーの製造工程が変化し特殊な仕様のめっき材が必要になった

## 問題点

特殊仕様の為めっき工程数が増え、従来通りの1コイルずつでの加工方法ではコストが高く、また、納期が掛かり、増産対応に不向きであった。

## 提案

めっき加工の生産性を高める為、広巾素材をめっき後にスリット加工する方法を提案

提案前

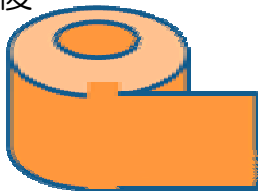


素材 幅15mm × 2本

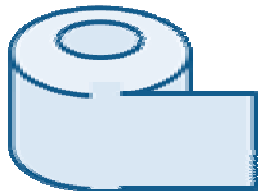


めっき 幅15mm × 2本

提案後



素材 幅77mm × 1本

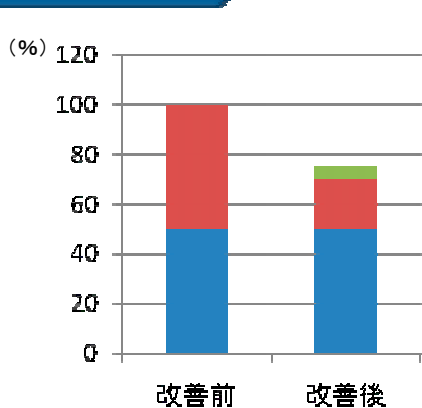


めっき 幅77mm × 1本



スリット 幅15mm × 5本

## 効果



- ①めっきの生産性が向上し、コスト低減(25%)
- ②増産対応が可能となった (200%増)



## 背景

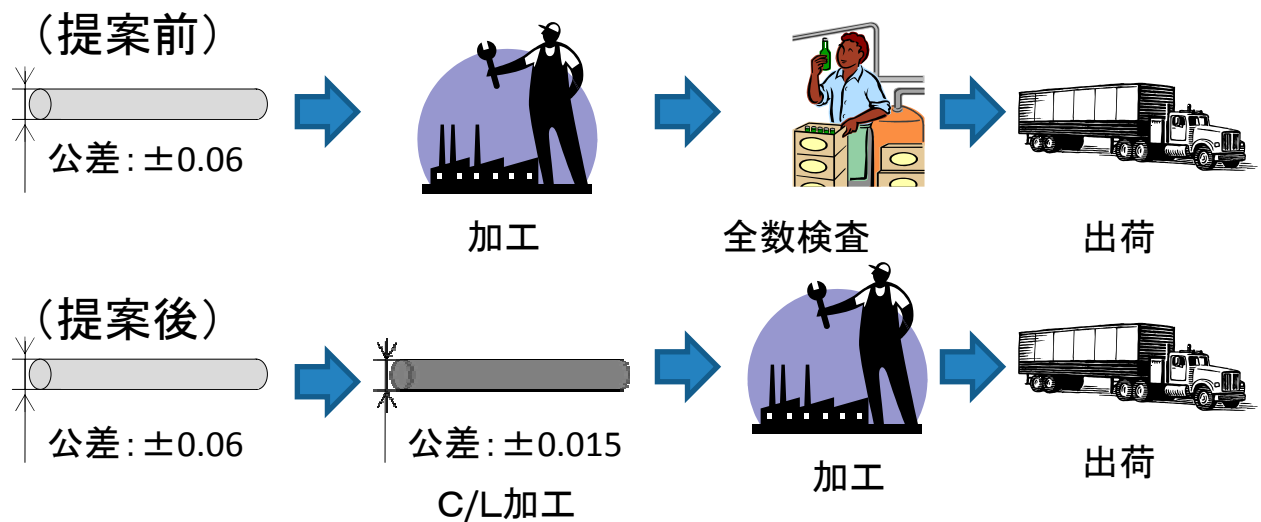
量産開始時より素材の公差内(±0.06)での寸法のバラつきが原因で、お客様が作る製品の品質も安定しなかった

## 問題点

作る製品の品質が安定しない為、歩留まりが悪く、出荷前に全数検査を実施していた。

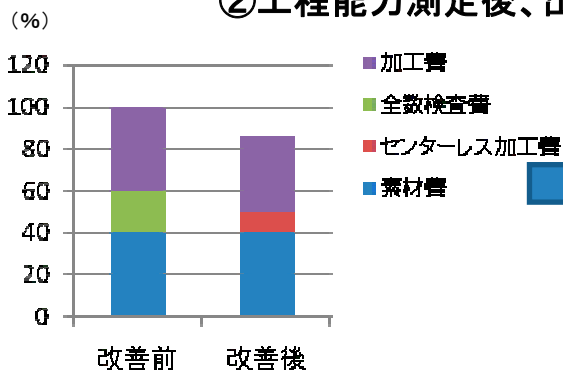
## 提案

品質を安定させる為、センターレス加工を行い、素材の寸法公差を安定させた(±0.003)



## 効果

- ①歩留まりが向上した(約20%)
- ②工程能力測定後、出荷前の全数検査が無くなった



③素材費は上がったが  
 トータルコストの低減(約15%)



## 背景

お客様の使用量が増加し、物流、発注、受入体制面での諸問題が顕在化してきた。

## 問題点

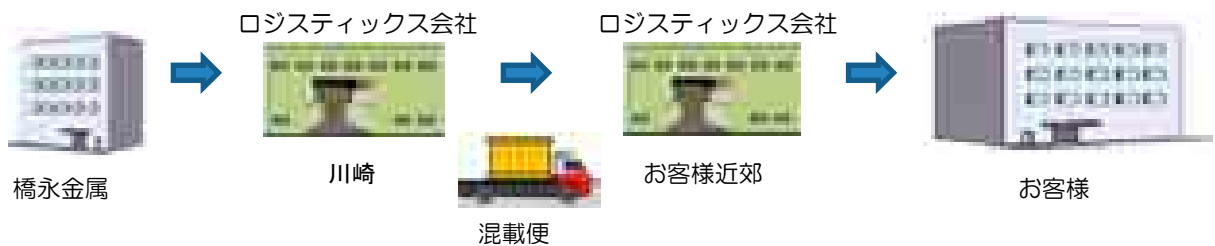
- ① 混載便での納品可能量をオーバーしてしまう。
- ② 在庫保管が倉庫をオーバーしてしまう。
- ③ デイリー納入体制が必要になる。

## 提案

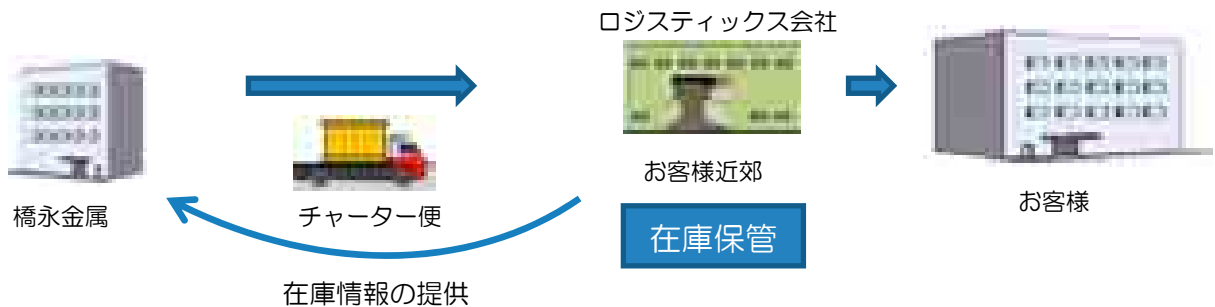
ロジスティクス会社の機能をフル活用する。

- ① チャーター便
- ② 保管
- ③ 情報提供

### 提案前



### 提案後



## 効果

- ① ジャストインタイムの納入体制が整った。
- ② 製品価格は現状維持。
- ③ お客様の在庫数量の把握が可能となり、材料の生産効率が改善された。



## 背景

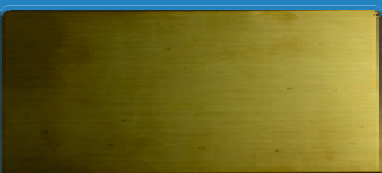
自動車の電装化が進み、センサー類のコネクターも複合化が進み、素材＋表面処理加工も求められる様になった。

## 問題点

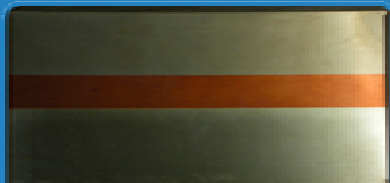
お客さまにて下工程をまとめるのが困難。(リードタイム:3ヵ月)  
(材料手配・加工手配・受注管理・納期フォロー等)

## 創造力

橋永金属にてお客様の工程を一括管理する事により各工程をスムーズに物(材料)を動かし、お客様へ供給する。



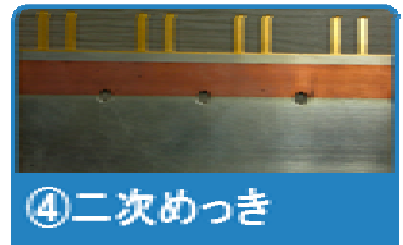
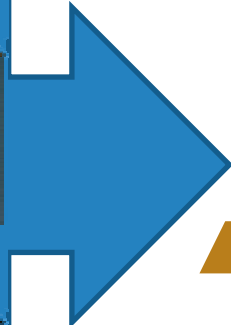
①素材手配



②一次めっき



③一次プレス



④二次めっき

お客様が本当に欲しい状態まで加工をして出荷します。

## 効果

- ①一括管理化によるトータルコストダウン実現。
- ②お客様の生産管理・品質管理業務を代行。
- ③物流がスムーズになった。



## 背景

光ネットワークが普及・進歩し高出力のデータ通信が求められ、それに伴い光コネクタも改善が求められている。

## 問題点

- ①ジルコニアを保護するコネクタ部品の強度不足
- ②材質変更によって強度は出たが、難削材のため加工性が低下（切削加工に新たな問題発生）



従来 : アルミまたは黄銅製

## 創造力

### ① 材質変更を提案



アルミまたは黄銅製



強度不足解消



ステンレス製

- ②-1 加工方法の変更 丸棒 → パイプ材
- ②-2 素材 + 加工品まで一括受託



素材: 丸棒



素材: パイプ



弊社ネットワークにより  
難削材での加工実現

仕込み重量及び加工代の削減)

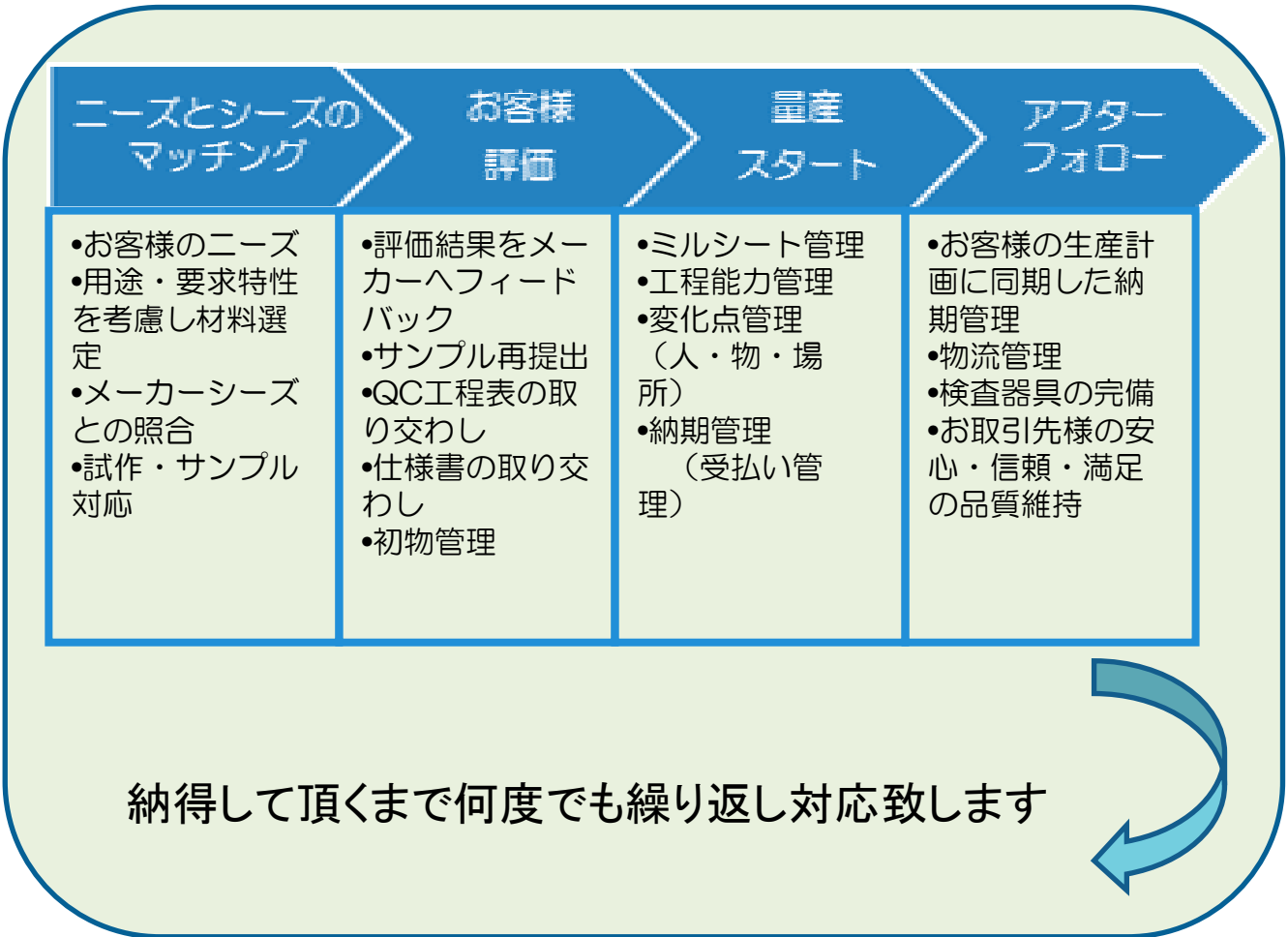
ワンストップでの部品供給体制へ

## 効果

- ①エンドユーザー受注増（難削材での加工部品が出来た為）
- ②不具合発生率が減少（強度問題が解決した為）
- ③トータルコストの低減



材料選定からアフターフォローまでお取引先様に安心・信頼・満足の行く品質力をお届けします。



お客様第一主義で安定した品質＋管理をお届けします。お客様が納得して橋永金属に全てを任せて頂けるまで、何度でも訪問と打合せを繰り返させて頂きます。



お客様第一主義の最適な材料、部品を安定してお届けする為に、仕様打合せ書を作成し品質の維持・向上に努めています。



社内に品質検査室を設け、仕様書、成績表、工程管理を充実し、品質維持の関所として機能を果たしています。





## 橋永金属は Face to Face を大切にしています

- ★ お引き合い
- ★ お問合わせ
- ★ 情報提供
- ★ クレーム対応
- ★ 納品



### ■ お客様の生の声を聞くことから始めます

情報通信の発達でますます便利な世の中になりました。  
それでも電話、FAX、メールだけでは伝えきれないことがたくさんあります。だからこそ私たちは 今も昔も  
**Face to Face の親切対応**を大切にしてきましたのです。  
さまざまなご要望にお応えするために、国内外を問わず  
皆様のもとへ駆けつけ、誠心誠意対応させていただきます。





## ■ 材料を親切対応でお届けしています

グローバル化が進む中、私たちの営業フィールドも国内はもとよりアジア各国へ広がっております。

橋永金属のスタッフ一同は国内外すべてのお客様に対し **Face to Face の親切対応** で材料をお届けしています。



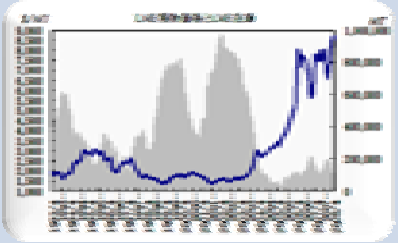
## ■ 私達のPOWER

橋永金属はこれまで皆様のご要望に対し、常に真剣に前向きに取り組んできました。私達には最後までさわやかさを忘れず **Face to Face の親切対応** ができる社風が脈々と受け継がれているのです。

それが私達のPOWERの一つとなっています。

## 12. 事業環境



潮流	機会と脅威
世の中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーダーレス化の進展（人・モノ・金）</li> <li>・環境意識の高まり 地球温暖化対応</li> <li>・新興国の需用拡大</li> <li>・資源高騰（原油・鉱物・食糧）</li> </ul> 
お客様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化による、市場拡大・現地調達の加速（価格・品質・サービスのベンチマークの変化）</li> <li>・環境性能向上・コスト削減のための設計見直し（潜在ニーズの拡大・既存商品の衰退）</li> <li>・リスク管理の高まり（BCP対応）</li> </ul>
取引先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生残りを賭けた事業再編・企業統合（製造品種、ロット重量、価格体系の見直、受注選別）</li> <li>・事業継承 技術の伝承</li> </ul>
自社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代交代を進めてきた（経営・営業・管理・経理）</li> <li>・我々の知的資産（提案力 創造力 品質力 対応力）</li> <li>・収益構造（顧客・商品）に偏りがある。</li> <li>・新規顧客開拓・商品開発のプロジェクト化</li> <li>・仕事の標準化・効率化への意識の高まり</li> </ul>

世界的な需要拡大に伴い、アルミ・銅など、非鉄金属材料価格は近年上昇を続けています。特に銅における上昇幅は4年前に比べ4倍に当たる高値圏にあります。

このような地金高騰で素材産業は追い風との印象を受けるかとおもわれますが、高騰した原料を購入し材料を製造する圧延業界は原油高も加わり大変厳しい事業環境下にあります。またこの材料をプレスや鍛造といった加工を施し製品にされる部品加工メーカー様や自動車、電子部品メーカー様も材料価格の上昇は製造原価を押し上げるマイナス要因として重くのしかかっています。

原料の高止まりが定着しつつあるなか、お得意先様もお取引先様も生き残りを賭け前例のない構造変革の潮流の中にあります。我々流通業界もこの変化の渦の中でしのぎを削っています。

## 13. 将来に向けて



### 第9次中期経営計画

ありたき姿

ニーズとシーズをつなぐ 真のモノづくり商社への進化

目的

コーディネート力を磨き、市場で勝ち抜く

収益構造・商品構成の転換

目的達成のため、重点施策を定め全社員一丸で取り組んでまいります。  
実行にあたって、私達のもつ知的資産のひとつでもある  
「Face to Face で親切対応」をモットーにステークホルダーの皆様  
それぞれの施策を実感いただけるよう推進してまいります。

社会	得意先	取引先	経営	従業員
環境保全活動	得意先比率 既存：新規 8：2	拡販プロジェクト共同展開	経常利益率 3%	自己成長 (目標設定)
地域貢献	商品構造 既存：新規 6：4	共同勉強会 展開	自己資本比率 30%	教育の充実 (教育計画)
法令遵守	情報発信 倍増	BCPの 共有	依存度 20%以下/社	資格件数
	提案件数 倍増	情報収集件数 倍増	SWOTの 継続	知的資産の 強化・継承

## 14. 会社概要



社名	橋永金属株式会社	
代表取締役	橋永勝弘	
創立	昭和10年	
設立	昭和21年	
所在地	〒152-0022 東京都目黒区柿の木坂3-3-2 TEL 03-3421-1916 FAX 03-3412-7404	
資本金	10,000,000円	
従業員	20名（うち嘱託4名 派遣1名）	
事業内容	非鉄金属材料および加工部品の販売	
取引銀行	三菱東京UFJ銀行 東京都民銀行 商工組合中央金庫 中小企業金融公庫 みずほ銀行	都立大学駅前支店 世田谷支店 渋谷支店 新宿支店 自由が丘支店
主な加入団体	東京都伸銅品商業組合 東京軽金属商協会 東京商工会議所 目黒法人会 目黒区産業連合会 環境G r 東京倫理法人会	
資格	ISO 9001 認証取得 ISO 14001 認証取得	
URL	<a href="http://www.hashinaga.co.jp">http://www.hashinaga.co.jp</a>	

## 15. 支援者からのコメント



知的資産経営報告書作成においては、まず自社の環境分析を行います。  
橋永金属さんの場合、全社員でSWOT分析を行いました。  
その中の「強み」に、「よい先輩がいた」という意見が出ました。聞いてみると、先輩から様々な指導を受けたことによって成長できた。今日あるのは先輩の方々のおかげです、というのです。この意見には全員が同意されました。世代の断絶や、自分だけが良ければそれでよしとする風潮の中にあって、先輩と後輩が信頼の絆で結ばれていることに感動を覚えました。その先輩の方々は、今も定期的に橋永金属に指導に来られています。先輩からの知的資産を受け継ぎ、社員が一体となって日々の活動に生かす。これが橋永金属の強みなのだと感動させて頂きました。

(有) ツトム経営研究所 代表取締役

森下 勉

## 16. 知的資産経営報告書とは



「知的資産」とは、従来のバランスシートに記載されている資産以外の無形の資産です。企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称を意味します。

また、「知的資産経営報告書」とは、目に見えにくい経営資源、すなわち非財務情報を、債権者、株主、顧客、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）として目に見える形で分かりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。経済産業省から平成17年10月に「知的資産経営の開示ガイドライン」が公表されており、本報告書は原則としてこれに準拠して作成しています。

## 17. 本書ご利用上の注意



本知的資産経営報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画並びに附帯する事業見込みなどは、すべて現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて記載しています。そのため、将来に亘り当社を取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要を生じることもあり、その際には、本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性もあります。本報告書に掲載した内容や数値などを、当社が将来に亘って保証するものではないことを、十分にご了承願います。

## 18. お問い合わせ先



橋永金属株式会社                      営業部  
〒152-0022                              東京都目黒区柿の木坂3-3-2  
TEL 03-3421-1916                      FAX 03-3412-7404